

佛教學七三十一

第 24 号

佛教学徒の反省……………	横 超 慧 日…	1
奉先源清の止観思想……………	福 島 光 哉…	9
『大智度論』の著者について……………	玉 井 威…	21
—É. Lamotte, “Der Verfasser des Upadésa und seine Quellen”—		
説一切有部の極微論研究……………	上 杉 宣 明…	37
在家戒の授受について……………	大 沢 伸 雄…	53
—四分律行事鈔導俗化方篇を中心として—		
* * *		
ヨーロッパにおける国際日本学学会議管見(上)……………	佐々木 現 順…	67
—ヨーロッパ佛教学者との関連—		
<u>書 評・紹 介</u>		
雲井昭善著：勝鬘經……………	高 崎 直 道…	76
舟橋尚哉著：初期唯識思想の研究 —その成立過程をめぐって—……………	高 崎 正 芳…	80
平井俊栄著：中国般若思想史研究 —吉蔵と三論学派—……………	三 桐 慈 海…	85
<u>海外学界ニュース</u>		
韓国における「世界佛教学術会議」に出席して……………	雲 井 昭 善…	91
* * *		
山口益博士への弔辞……………	櫻 部 建…	95
学会集報……………		96

1976年10月

大谷大學佛教學會

執筆 者 紹 介

横 超 慧 日

大谷大学名誉教授 文博
※リポジトリ非公開

福 島 光 哉

大谷大学文学部助教
※リポジトリ非公開

玉 井 威

京都工芸繊維大学短期大学部講師
※リポジトリ非公開

上 杉 宣 明

大谷大学大学院博士課程
※リポジトリ非公開

大 沢 伸 雄

大谷大学大学院博士課程・特別研究生
※リポジトリ非公開

佐々木 現 順

大谷大学文学部教授 文博
※リポジトリ非公開

高 崎 直 道

東京大学文学部助教 文博 Ph.D.
※リポジトリ非公開

高 崎 正 芳

花園大学文学部教授
※リポジトリ非公開

三 桐 慈 海

大谷大学文学部助教
※リポジトリ非公開

雲 井 昭 善

大谷大学文学部教授 文博
※リポジトリ非公開

櫻 部 建

大谷大学文学部教授 文博
※リポジトリ非公開

三〇・二九〇上、由分別覚慧分析諸色、至極邊際一建立極微。(五四卷、同五九七下)。但し、集論は極微を法処所撰色とするが、瑜伽師地論はそうではない。

③4 瑜伽師地論五四卷(同・五九八)は五相の「不如理思議極微」を挙げ、それら五相を如理思をもって断すべきことを説く。五相とは、一、於色聚中有諸極微自性而住。二、極微有生有滅。三、極微与余極微一或合或散。

四、衆色於極微量積集而住。五、極微能生別異衆多色聚である。

③5 瑜伽師地論五四卷(同・五九八)は極微建立の五つの勝利を挙げている。即ち、一、由分析一合聚色安立便於所緣境二便能清淨广大修習。二、能漸断薩迦耶見。三、能漸断極慢。四、能漸伏諸煩惱。五、能速疾除遣諸相である。

編集後記

本誌の編集を終えて原稿が印刷に回ってから、突然金子大栄名誉教授の訃報に接し、相次いでその翌日、本学佛教学科のスタッフの中で最長老であった山口益名誉教授逝去の悲報を受けた。

山口益先生の業績の偉大さはとてもこのコラムだけでは尽せないで別の機会に譲るしかないが、先生には本誌の創刊号に「大乘佛教について―その精神史観への一試攷―」と題して巻頭論文を執筆頂いて以来、六号・九号・十一号・一七号・二〇号と六回にわたって玉稿を賜ったというこのみをとりあえず記しておく。追悼記事が間に合わず、葬儀における櫻部教授の弔辞を載せた。

今回は二編の新鮮なニュースに豊んだ論稿を載せることができた。この九月に韓国における国際会議に出席された雲井教授の海外学界ニュースと、同じ韓国の会議とその直後にスイスで開かれた国際会議の両方に出席された佐々木現順教授の論文とである。両先生には原稿締切り後に無理にお願いし、御多忙をおして短

期日のうちに執筆して頂いた。

特に佐々木教授の論文は東洋と西洋の両会議を比較して書かれており、更にヨーロッパにおける有名な佛教学者たちとの会見記録にまで及んでいる。紙面の都合で二回に分けて掲載することになった。本誌では今回、玉井・上杉・大沢という三人の若い学徒の論文を載せたが、佐々木論文の中の「若き学徒の将来」という項は実に示唆的である。

巻頭論文「佛教学徒の反省」は中国佛教学の權威である横超名誉教授が一佛教学徒という立場から書かれた論文で、これからの佛教学研究に反省の機会を与えてくれるものだと思う。佛教学徒として心して読むべき論文であろう。

雲井・舟橋(尚)両会員が著書を出されたので学外の高崎直道・高崎正芳両先生に書評をお願いした。御多忙中にもかかわらず御執筆頂いた両先生に厚く御礼申し上げます。

本誌をより良い雑誌にするために本誌に対する読者諸氏の意見・批判・希望をどしどし編集部までお寄せ頂きたい。

(五百元)

佛 教 学 セ ミ ナ ー 第24号

昭和51年10月20日 印刷 ￥ 600
昭和51年10月30日 発行 U. S. \$ 3.00

編 集 行 大 谷 大 学 佛 教 学 会
発 行 櫻 部 建
京都市北区小山上総町22
振替 京都 25303 番

印 刷 中 村 印 刷 株 式 会 社

発 売 所 文 栄 堂 書 店
京都市中京区寺町通三条上ル
振替 京都 2948 番
電 話 (231) 4712 番

BUDDHIST SEMINAR

CONTENTS

Articles :

- The Self-reflection of Buddhist Student.....*Enichi Ocho* (1)
Yüan-ch'ing's Philosophy of Meditation (止觀)
*Kosai Fukushima* (9)
 The Author of 'Ta-chih-to-lun'*Takeshi Tamai* (21)
 —É. Lamotte, "Der Verfasser des
 Upadeśa und seine Quellen"—
 Paramāṇu-theory of the Sarvāstivāda*Nobuaki Uesugi* (37)
 The Acceptance of the Housholder's Sila*Nobuo Osawa* (53)
 —*Dào-xuán's* Ssü-fen-lü-hsing-shih-ch'ao—
 * * *
 A Comment on 'Congrès International d'Études
 Japonaises' (I)*Genjun H. Sasaki* (67)
 —Buddhist Scholars in Europe—

Book Reviews :

- S. Kumoi : Ārya Śrīmālādevī-simhanādanāmamahāyānasūtra
 —Japanese Translation with Exposition—.....*Jikido Takasaki* (76)
 N. Funahashi : A Study of the Early Vijñaptimātratā Thought
 —with Special Reference to the Historical Development
 of Vijñaptimātratā Thought—*Masayoshi Takasaki* (80)
 S. Hirai : A Study of the History and Thought of Chinese
 —*Chi-tsang* and the Sanlun Tradition—*Jikai Mitsugiri* (85)

Overseas News :

- A Report of the World Conference on Buddhism
 and the Modern World, Korea*Shozen Kumoi* (91)
 * * *
 Obituary: The Late Professor S. Yamaguchi.....*Hajime Sakurabe* (95)
 Reports (96)

PUBLISHED FOR
 THE SOCIETY OF BUDDHIST STUDIES
 OTANI UNIVERSITY
 KYOTO, JAPAN